

各 位

会社名 ラオックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 本多 利範
 (コード番号 8202 東証第2部)
 問合せ先 執行役員 広報 IR 室長 山下 巖
 (TEL 03-5446-5701)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月期中間決算において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 11 日の「平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)」の発表時に公表しました、平成 19 年 3 月期の中間期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)及び通期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

個別決算において、基幹情報システムに係る不要ソフトウェア臨時償却損として、590 百万円、役員保険解約損として、58 百万円、固定資産売却にともなう什器撤去費用などの除却損として、16 百万円、その他雑損 19 百万円を特別損失にそれぞれ計上いたします。

連結決算においては、上記個別決算に子会社 2 社における雑損計、1 百万円を加え、687 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	43,720	480	780
今回修正予想(B)	42,451	732	93
増減額(B-A)	1,269	252	873
増減率(%)	2.9	-	-
(ご参考)前年同期実績	54,199	113	9,625

(2) 個別中間業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	41,800	440	820
今回修正予想(B)	40,244	518	90
増減額(B-A)	1,556	78	730
増減率(%)	3.7	-	89.0
(ご参考)前年同期実績	51,656	125	8,211

2. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	102,600	810	1,980
今回修正予想（B）	91,500	120	5,560
増減額（B - A）	11,100	690	3,580
増減率（％）	10.8	85.1	180.8
（ご参考）前期実績（平成 18 年 3 月期）	103,406	383	9,891

（2）個別業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	98,500	530	1,760
今回修正予想（B）	87,200	210	5,640
増減額（B - A）	11,300	320	3,880
増減率（％）	11.4	60.3	220.4
（ご参考）前期実績（平成 18 年 3 月期）	98,596	248	8,950

3. 修正理由

（1）連結業績予想の修正

中間期の売上高につきましては、パソコンの買い控えによる売上低迷や、天候不順によるエアコン・冷蔵庫などの季節性の高い商品の不振などの要因により、目標を下回りました。なお、熾烈な価格競争の中でも、重点商品に絞り込んだ販売手法などにより、粗利率の面では、昨年同期と較べて若干の改善を達成することができ、また、業務改革の推進などにより、経費削減に努めましたが、粗利絶対額の下振れ部分を補うには至りませんでした。なお、情報システムの未使用ソフト一括償却を特別損失に計上したことなどもあり、当期純利益も予想を下回りました。

通期の予想に関しては、中間期の業況を鑑みて、下期の売上高および経常利益の目標を保守的な数値に置き換え、下方修正いたしました。但し、下半期、資産譲渡益約 43 億円の特別利益計上などにより、当期純利益につきましては、上方修正することになりました。

（2）個別業績予想の修正

連結業績予想の修正理由と同様の理由によるものであります。

（注）今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上